櫻井工業株式会社
サステナブル経営支援ボンド
評価レポート

評価日：2026 年 7 月 31 日

株式会社北洋銀行
南郷通支店

1. 基本情報

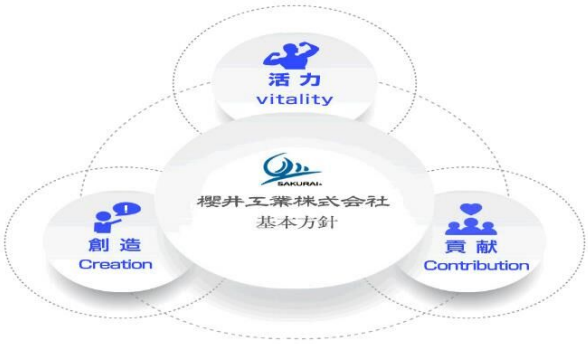
企業名	櫻井工業株式会社	
代表者名	櫻井　光雄	
所在地	・ 本社	北海道札幌市白石区平和通 11 丁目北 6 番 39 号
	・ 札幌事業所	北海道札幌市白石区平和通 16 丁目北 1 番 17 号
	・ 盛岡営業所	岩手県盛岡市夕顔瀬町 22 番 29 号
	・ 仙台支店	宮城県仙台市若林区六丁目の目中町 25 番 43 号
	・ 東京支店	東京都大田区萩中 3 丁目 12 番 18 号
	・ 埼玉営業所	埼玉県三郷市早稲田 2 丁目 13 番 15 号
	・ 名古屋支店	愛知県名古屋市中村区角割 5 丁目 18 番地
資本金	3,500 万円	
従業員	33 名（2026 年 6 月現在）	
業種	建設業	
事業内容	・ 建築物全般、各設備の老朽化調査及び診断業務 ・ 給水設備、各設備の大規模改修工事 ・ 給水・給湯配管設備工事、排水・衛生設備工事 ・ 各排水管・貯水槽の洗浄および清掃 ・ 給排水ポンプ工事 ・ 脱気式防錆装置（赤水対策等） ・ 設備メンテナンス	
沿革	昭和 42 年	櫻井工業設立（創業者　櫻井守）、建設業許可取得
	昭和 51～52 年	有限会社化し（桜井工業有限会社）、札幌市指定第一種水道工事業者となる。水質処理環境技術機器の研究開発を開始し、社名を EWT 櫻井株式会社へ変更、マンションリニューアル及びメンテナンス事業に参入
	平成 9～20 年	札幌市アパート協同組合工事指定店となり、櫻井光雄が代表取締役社長に就任。社名を櫻井工業株式会社に変更
	平成 20～25 年	東日本大震災のライフライン復旧に参加。仙台・名古屋支店を開設し、両市の指定給水装置工事業者となる
	平成 25～29 年	特定建設業許可取得、東京営業所開設。オゾン洗浄（北海道エリア）を開始し、創立 50 周年を迎える
	令和 3～4 年	労働災害防止安全協力会・櫻会を設立。東京営業所移転、札幌・埼玉・盛岡の各拠点を開設

2. 経営理念

経営理念
人を活かし、社会へ貢献

基本方針
活力・貢献・創造

櫻井工業株式会社は、「人を活かし、社会へ貢献」の経営理念のもと、全国 7 拠点で大規模マンションや公共施設等の給排水設備リニューアル事業を展開している。同社はこれまでも SDGs 教育私募債やサステナブル経営支援ボンドの発行を経て、非財務価値の向上と地域社会への貢献を経営の主軸に据えてきた。今回のサステナブル経営支援ボンド発行にあたり、同社はさらなる企業価値向上と持続可能な社会の実現に向け、環境・社会面の「サステナビリティ目標（コミットメント）」を設定した。利潤追求のみならず、地球環境への配慮と、人的資本の強化を同時並行で実践する姿勢は、地域のサステナブル経営を牽引する先駆企業として高く評価できる。



出所：櫻井工業株式会社　提供資料

3. 事業概要

櫻井工業株式会社は、昭和 42 年に札幌市で発足し、設備改修・メンテナンス事業を中心に 50 年以上の実績を有する。本社を札幌市白石区に構え、盛岡・仙台・東京・埼玉・名古屋など全国 7 拠点を展開。大規模マンション等の給排水・給湯設備の改修工事を主力とし、現況調査から施工、アフターサービスまでを一貫して提供する体制を整えている。従業員数は 33 名で、うち技術職が多数を占める。管工事施工管理技士や給水装置工事主任技術者などの有資格者が在籍し、施工品質と対応力に定評がある。近年はクラウド施工管理システムの導入や BCP 対応拠点の整備など、DX・人的資本・環境配慮を重視した経営に転換しており、地域金融機関との連携を通じてサステナブル経営の実現を目指している。

櫻井工業株式会社の主力事業は、集合住宅・公共施設等における給排水・給湯設備の改修工事である。築 30 年以上のマンションを中心に、老朽化した設備の更新を通じて建物の長寿命化と居住者の快適性向上を図っている。施工前には CCD カメラや内視鏡による管内調査を実施し、劣化状況を定量的に把握したうえで、最適な改修計画を提案。施工後は 3 営業日以内の対応を標準化し、顧客満足度の向上に努めている。

また、設備メンテナンス事業では、定期点検・清掃・緊急対応を通じて建物設備の安定稼働を支援。排水管洗浄や貯水槽清掃、消防設備点検などを専門技術者が対応し、管理組合やオーナーの維持管理負担を軽減して

いる。さらに、建物診断・長期修繕計画の作成支援も行っており、資産価値の維持に貢献している。

近年は、クラウド型施工管理システムの導入により、工程管理・情報共有・属人化の解消を推進。施工現場の進捗をリアルタイムで可視化し、技術者の労働時間削減にも寄与している。2025 年度には正社員の年間総労働時間 1,923 時間以下を目標に掲げている。

人的資本面では、外国人施工管理者の登用（累計 6 名）や女性技術者の育成を進めており、研修制度・資格取得支援を通じて多様性ある現場体制を構築。2024 年 8 月には SDGs 教育私募債（寄付寄贈型）の発行による地域教育機関への寄付も実施しており、地域貢献活動として高く評価されている。

■ **当社札幌事業所と施工の様子**

出所：櫻井工業株式会社　提供資料

4. サステナビリティ目標

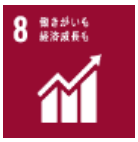
櫻井工業株式会社の更なる企業価値の向上と、持続可能な開発の実現にむけた社会課題を踏まえ、以下のサステナビリティ目標を設定した。この目標は、櫻井工業株式会社の事業エリアである北海道が持続的に発展し、魅力ある地域を創り上げていくために策定した「北海道総合計画（2024）」などを参照し、設定したものである。目標達成への企業行動を通じて、櫻井工業株式会社のプレゼンス向上と地域社会が目指す姿の実現に貢献するものであり、目標は有意義である。

(1) 環境面におけるサステナビリティ目標

重　要　課　題	**脱炭素社会実現への貢献**
目　標　・　ＫＰＩ	温室効果ガス排出量を 2030 年まで毎年 2.7%以上削減する。
関連する SDGs	

同社は、従来サステナビリティ目標としていた「温室効果ガス排出量の可視化」という初期フェーズを完了したため、本件ボンドでは「2030 年まで毎年 2.7%以上の継続削減」という定量的な削減目標にコミットした。本州展開に伴う移動コストや現場エネルギーが増大する一方で、ICT 技術を活用した遠隔臨場システムの導入や、現場管理の効率化、社用車の電動化（EV・HV 化）を計画的に進めることで、施工 1 件あたりの環境負荷を構造的に低減させる方針である。地方の設備工事企業として、実効性の高い脱炭素アプローチであると評価できる。

(2) 社会面におけるサステナビリティ目標

重　要　課　題	**人的資本経営の推進**
目　標　・　ＫＰＩ	消費者物価指数を上回る賃金上昇を継続して実施する。
関連する SDGs	

同社は、持続可能な成長の核心を「人財」と位置づけ、「物価上昇を上回る賃金の継続的な引き上げ」にコミットした。昨今のインフレ環境下において従業員の生活基盤を守り、エンゲージメントを高める先進的な取り組みである。具体的な施策として、2026 年 5 月より「関係資格試験奨励制度」を刷新し、1 級・2 級管工事施工管理技士および給水装置工事主任技術者の受験料を会社が全額負担し、合格時には最大 10 万円の奨励金と、毎月最大 4 万円の手当を支給する制度設計としている。特に、社内における給水装置工事主任技術者の「全員取得」を目指すとともに、2 級管工事施工管理技士 15 名、1 級管工事施工管理技士 5 名の取得を目標に、全社的なバックアップ体制を構築している点は特筆に値する。高度外国人材や若手技術者の多能工化・キャリアアップを経済面から強力に支援するこの制度は、業界全体の課題である技術者の高齢化に対する技術継承を仕組み化する取り組みとして非常に優れており、同社の高付加価値受注を支える強固な基盤になると評価できる。

留意事項

本文書は、北洋銀行が借入人に対して実施する「サステナブル経営支援ボンド」に際し、借入人の企業経営とサステナビリティ目標に対する北洋銀行の評価を述べたものです。

本文書に記載された情報は、現時点で入手可能な公開情報、借入人から提供された情報や借入人へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況を評価したものであり、当該情報の正確性、実現可能性、将来における状況への評価を保証するものではありません。

北洋銀行は当文書のあらゆる使用に起因して発生する全ての直接的、間接的損失や派生的損害については、一切義務または責任は負わないものとします。

本評価書に関する一切の権利は北洋銀行に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用（複製、改変、翻案等を含む）は禁止されています。